



## 小供と大人

文學士 加藤 玄智

私は全く幼稚園や小學校の教育には門外漢であります。私の専門とする宗教とはへたである事であつて諸君より承りたい位です。かつて御断り致しました。是非出なければならぬ理由があつて自然に導かれ出ました。その理は他ではありませぬ。實は私の子供が當幼稚園に四月以來御厄介になつて居りました。その關係上是非のことと材料がなければ父兄としての所感でもとの實にのつひきならぬことで。子供が世話になつて居るのに父兄として何等の考がないと申上るのは失禮のことだと思つてやむを得ず出たのであります。そうかと申して何も申し上る事はありませぬが只父兄懇話會の席上で自分の子供に就て申し上る様な次第で誠に平凡な常の料理極々まづい手料理を申し上

ぐるのであります。所で私の題はかりに名づけて小供と大人とでも申しませうか。日本ではどこへまゐつても大人が子供にむかひておとなしくせよとの注文が多い。日本人は之が習慣となつて殊に男兒などにむかつては口癖の様である。おとなしくせよといふことは即ち大人らしくせよといふことであつて、小供を大人の如く早く立派にしたいと思ふのは無理のことではないが一方からはキリスト教のバイブルを繙くに「汝等幼兒の如くならざれば天國に入ることあたはず」と云つて居る。かくいひながら一方では小供に向つて大人の如くなれといひ、一方では聖人夫子が大人に向つて小供の如くなれとすゝめて居る。これは明に矛盾のことと見受けられる。支那の語に大人は赤子の心を失はざるものなりと云ふて居る。大人は即ち偉人を指したのであるから偉人の如くなるには赤子の如かれと云ふのである。然るに小供には大人になれとは何としても矛盾である、米國にながく居て西洋にかぶれた友人

が歸つて来て私に申しますには日本で小供に大人  
 らしくせよといふのは自分は大嫌いであるといふ  
 て居る。之れは一理あることでキリスト教を信ず  
 る歐米社會の空氣を吸ひし人に無理もないことで  
 あると思ふ即ち支那の教にもキリスト等しく偉人  
 は赤子の心を失はないといふ之の二格言は矛盾で  
 あるが然し自分はこの二者の何れをも採れると思  
 ふ。即ち次の如くこの矛盾を解かうと思ふ。  
 一寸これを解く前につくく考いて見ますと、一  
 人小供だけでなく大人にあつても二つの社會に住  
 むと云ふ事が出来ます即ち一は自然界一は道德界  
 である。私共はこの二者に屬して居る。吾々は一  
 方では肉体を持つて居る。それと同時に靈即ち精  
 神を持つて居る。肉体の世界は自然界、精神の世  
 界は道德界である。どんな動物でも肉体を持つて  
 居るこの點に於ては吾々は同一である。然し之等  
 は人間か有する如き精神は持つてゐない。他の動  
 物には人間らしき道德を有するものはないであら  
 う、其他知力の進歩も差があるでせう。其他人間  
 以外の動物にも其一部分はありますけれども人間

の如く完全にはない。鳩に三枝の禮ありといふよ  
 りいへば他の動物にも道德の萌芽があります。人  
 間は動物と共通に有する自然界であると同時に精  
 神と云ふ高尚なる界を持つて居るから吾々人間は自  
 然界の満足を壓しても道德界の要求を満たさなけ  
 ればならぬので身を殺しても仁をなす或は君の馬  
 前に戰死する。之れが人間と動物と異なり萬物の  
 靈長たるわけである。小供はどふかと云ふに小供  
 も人間たる以上は將來道德界にも住むべきもので  
 幼稚ながらも其意味に於て人格を以て居ります。  
 けれども幼稚であるから本能の大部分は他の動物  
 に屬して居る將來は小供も道德界に住する素質を  
 有して居るけれども、若し之を徹置するならば性  
 慾の向ふ所は本能の欲するまゝにのみ走る傾向さ  
 がある。之れは進化の止むを得ざる處であるつま  
 りこの世界を達觀してみると、自然界と道德界  
 即ち肉体と精神との衝突である。之れが此の世界  
 の現象であります。肉体は死ぬ事を忌むけれども  
 道德は之れを命じます。即ち身を殺しても仁をな  
 すと云ふ事もこの意を證明して居るのではない

か。之れか世界の真相浮世の狀態なので、之れが修養工夫の結果道徳方面が勢力を増し肉体的の方面が服するやうになるのが即ち道徳的修養である、之れを肉体からいへば身の爲をそぎて他人の爲にする。是れ即ち人間の道浮世の義理人の踏むべき本分で仕方がなく、修養されて行くのである。この事をさのみ苦に思はないやうになりこの道をよく達したのは聖人君子である。

孔子は十有五にして學に志し三十にして立ち四十にして惑はず六十にして耳順ふ七十にして初めて心の欲する處に従つて則を超えずといはれました。之れによりて孔子が次第次第に最後の處に達せられた跡が明になつて居る。七十になつた時には心の欲する處がその則にづれず、即ち道徳法と自然とが全く合したのであります。吾々も道徳を修養工夫してこの様になりたいものであります。元良博士が常今精神操練機を作られて低脳兒童の注意散慢なる心を一點に集むる法を實驗せられて居りますが其の結果は多少よい方に向かつて居る。

様でありませぬ、此博士の言に吾人の精神の根本は注意を集めるといふ事にある故に之れを練習しなければなりません。

又人が好色を好むが様に道徳を好んでする様にならねばならぬ、善い事であつたらばいやでも何でもする事にしたい、教育者は兒童をこういふ風にする事が出来たらよかるうけれども心は復雜であるからむつかしい事であるといはれました。孔子様が「心の欲する處に従つて則を超えず」と抑せられたのも此事でありますけれども一般の人

はここまでは行かない。どうも苦痛だけれども浮世の義利で已むを得ないからするといふので、猶それにも及ばないで性慾の欲するまゝを働か、新開の種ものとなる様に墮落するものであります。どうも人は道徳と自然とに衝突が起つて然るのち自然法をためて道徳に従つてゆくのであります。此の二方面を有するものは人間であつて他の動物はこのことがなくして肉体の欲するまゝにして居る。子供も極幼稚の時にも道徳的訓練が出来て

居ないで自然界にのみ従つて居る。

然るに子供は將來人間即ち道德界に住む資格のあるものでありますから、道德的方面に適へよといふ意味からして大人しくせよといふことが起つたのであります。

人間の人間たる眞面目は道德的行爲者たるものであるから子供に向つて「お前も將來立派になるものであるから早く大人らしくなれ」といふ事からして日本の習慣になつたのであろう。

吾人が人類であることは人間たる自分を發揮せよといふのであろうと思ふ。この點より考へるおとなしくせよといふのは無理でない。おとなしくせねば人らしくならず終る事になるから、父兄は朝夕おとなしくせよと要求するのは尤もであると思ふ。

即ち子供は將來人間即ち道德界に住む資格のあるものでありますから、道德的方面に適へよといふ意味からして大人しくせよといふ事が起つたのであります。人間の人間たる眞面目は道德的行爲者たるものであるから子供に向つてお前も將來立

派になれるものであるから早く大人しくなれといふ事からして日本の習慣になつたものであらう。

處が他の方より考へると、物に一利一害があるのはやむを得ない事で、之れが相對社會の眞相である。人間の人間たる所以は道德法の命ずるところに從はねばならぬ。されども余り此事を矢蓋しくいふと社會が形式に流れて精神のぬけたる形ばかりの道德禮儀が行はれて、いはゆる道學先生となるのである。それが道德を思ひすぎたる弊害であつて人前ばかり道德にかなへる形式を行ふ様に實

に一種忌むべき人間が出来る。この様に形式のみ流れたる道德より小供の行ふ處はいくらか動物的でありませうけれども誠に天真爛漫である、この點からしてキリストは嬰兒の如くならずんば天國に入る能はずと仰せられたのであります。キリストの生れる前のユダヤ釋迦の出る迄の印度ルーテル

の出る前のローマカトリックの如き社會は形式主義になつて道德的弊に堪えぬ世であつた。この形式に死んだ社會をいかす爲に改革者が出て該等

嬰兒えいじの如ごとくなれといはれたのであります。嬰兒えいじは天真爛漫てんしんらんまんで心のむかふ處ところに行動こうどうして居ゐる。掬くす可べき所ところを取とつて形式けいしきに中毒ちゆうどくして居ゐる社會しゃかいを救すくうため  
に斯ごとくいはれたのであります。此この意味いみからいふ  
と神かみがかかる尊たうとの教きやうを智者ちやうや學者がく者に與あへないで嬰えい  
兒じに與あへられたのは誠まことに結構けつこうであるキリストが安あん  
息そそ日に病人びやうじんをいやしたこれをユダヤ人が見て安あん  
息そそ日には仕事しごとをしてはいけなないとモーセの教きやうにある  
のに人ひとをいやす事は宜よろしくないといひました。こ  
の様に安息日あんしつじつの法はふになすんでこの様に瀕死べんじの病人びやうじん  
をも救すくふ事をしなはいといふ。此この形式けいしき的てき方面はつめんを破やぶ  
らうとしてキリストが天真爛漫てんしんらんまんなる嬰兒えいじを出いした  
のである。此この様に道德たうてき的に化石かふしした社會しゃかいを救すくふ  
爲ために自然主義ぜんぜんしゆぎが稱導しょうどうされたのでルソーが天然てんぜんに  
歸かへれといはれしは歐洲おしやうの教育けいよくの形式けいしきになすんだの  
を救すくふ爲ためである。佛國ふつこくの革命かくめいも形式的けいしきてき社會しゃかいを破やぶ  
らん爲ためである。今日のシヨールペンハウエルの哲てい  
學がくも印度いんどうの影響えいこうをうけて厭世えんせい的てき禁慾きんよく主義しゆぎになつ  
たのであろう。キリスト教きりすときやうはもと樂天らくてん的てきのものと  
ありまして此この教きやうにもとづいて何もかも自由主義じゆうしゆぎ

にかはつた西洋せいやうの社會しゃかいを救すくはんためにシヨールペン  
ハウエルが之これに反對はんたいした説せつを稱導しょうどうした爲ために歡迎げんげいさ  
れたのである。  
露國ろこくのマキシムゴルキーの説せつの迎むかへられたのも今  
日の歐洲社會おしやうしゃかいは貧富ひんふの差さがはげしかつたが爲ためであ  
る。ニイチエーは社會しゃかいの道德たうてきを罵倒ばたうしつくした  
爲ために歐洲社會おしやうしゃかいに迎むかへられたのである。  
思おもふに私は人間にんげんの生活せいかつは自然界ぜんぜんかい以上の道德界たうてきかいに有  
り主張しゆちやうするのである。故ゆへに吾人われらはどこまでも道  
德的たうてきに暮くして人間にんげん本來ほんらいの目的てきどくを眞面目まじめに行やりたい  
けれども、この裏うらにある弊へいは洗あひ去さらねばなら  
ぬ。その清涼劑せいりやうざいとして自然ぜんぜんに返かへつて子供こどもらしくな  
れといふキリストの言げんは時世ときよに適あつた物ものと思おもひま  
す。私も大人おとなの如ごとく道德たうてき的てきの虚飾きよしきを脱だつして嬰兒えいじの  
如ごとく天真爛漫てんしんらんまんな心こころを失うひたくな。此この心こころを失うは  
ぬ處ところで偉人ゐじんたる面目めんもくがあらはれるのであ  
る。故ゆへに大人おとなにも子供こどもにも二方面にへんがあつて大人おとなの  
子供こどもに優あげられる處ところは道德たうてき的てきにありて之これの裏うらには形  
式けいしきたる弊害へいがいがあり又また子供こどもは天真爛漫てんしんらんまんで愛あいす可  
きものですが悲かなしいかな道德たうてきの觀念くわんねんがありませ

ん。其故に子供の悪い所を矯正する爲に大人らしくなれといふ格言が起り大人に對しては形式の道徳を矯めんが爲に小供らしくなれといふのでありませす西洋の child like は子供らしい善い方面で child like は子供くさい乃ち大人氣ないとても云ひませうか兎に角悪い方面である。

乃ち子供らしい信仰は大人になつても何處までも保存しておきたいがチャイルドイッシュは惡方面であるから少さい時から取り去らねばならない物であらう。日本の習慣から小供に向つて大人らしくせよといふ事にも眞理があると同時に小供らしい處を去つてはなりませせん。

つまりこの二つの矛盾は全じ物を兩方面から云つたのである。全体日本では子供に對して大人しくせよとなくせよと云ふ爲か早くから老成ぶる様に思はれて面白くない。之は一つの弊害であつて西洋では大人しくせよと云ふ事がなくて大人でも小供と共に運動してオールドボーイの如くなり大きくなつても好んで子供の如く表出を無暗にするために人と別れる時などもオイ〜と泣く様なる

事です。日本では喜怒哀色に表はさずと云ふ事があつて之の點は反對であります、このように社會社會によつて風俗習慣が異なる結果日本では大人らしくせよといふ事が用ゐられ西洋では小供らしくせよといふ事が用ゐられる。けれどもこの二つの物は決して矛盾する物でない例令は同じ手を見て甲といひ掌といふやうな物である。故に其時期々に應じて互に其長所は進めて弊に陥らない様にとめねばならぬ。世間では非常に美しき繪を見れば實物のやうだとほめるので、われは即同じ物を兩方面より見たのであります。

要するに人種の異つて居る日本では人を呼ぶにはかいで〜と手で招き西洋ではそれと反對に掌を上に向けて自分の方へ動かして其の形は異つて居るけれども精神に於ては同じなのである。この精神で小供を導いたならば東西洋の粹をぬく事が出来て好結果を得る事と考へます。